



▲「お茶っこ会」で牛深ハイヤ踊りを踊る皆さん

県と県内各市町村職員による保健医療チームの一員として、7月25日から8月1日まで、宮城県南三陸町の2次避難所「南



社会福祉課  
福本 美佐子 参事  
(保健師)

## 牛深ハイヤ踊りで健康づくり

三陸ホテル観洋」で、被災者の健康相談や健康チェック、仮設住宅での健康調査などの活動を行いました。同町においては、がれきの撤去が進み電気や道路も復旧しているほか、住民は仮設住宅へ転居するなどして避難者も減りつつありました。一方、活動拠点である同ホテルの避難者数は422人（昼間は100人）で町内最大規模、災害時要援護者も20人が身を寄せておられるという状況でした。

このような中、県の保健医療チームでは、避難者の生活不活発病予防のため、簡単な運動などをした後にお茶を飲みながら歓談する「お茶っこ会」を同ホテル内で運営。その中で、同じ港町ということで「牛深ハイヤ踊り」を皆さんに紹介し、笑顔で取り組んでいただきました。

今後は、避難所の閉鎖に伴い、仮設住宅での生活における、健康問題などへの相談体制の整備や、健康づくりへの支援が必要になると思われます。

## 東日本大震災関連支援情報

### 被災者を雇用した 市内の事業者へ補助金を交付

東日本大震災や福島原子力発電所の事故に伴い、市に避難してきた被災者を新規雇用した事業者に対して、雇用者1人につき月額15万円を限度に補助金を交付します。

補助の条件は、市内に本社があり雇用保険に加入している事業所（農・漁業などを営む個人経営者も含む）で、ハローワークを通じた正規雇用（期間の定めのない雇用契約で、所定労働時間が週35時間以上のもの）であることが必要です。申請方法などの詳細は、本庁（別館）・商工観光課へお尋ねください。

#### 【問い合わせ先】

本庁（別館）・商工観光課産業支援係

☎1111内線2557

### 市営住宅への受け入れや 移動費用などに一時金を交付

市では、東日本大震災の被災者や、福島原子力発電所の事故に伴い避難対象となっている地域内の居住者を対象に、次の支援を行っています。申請方法などの詳細は、本庁・防災交通課へお尋ねください。

- ①市営住宅などへの受け入れ。
- ②市に避難してきた被災者に対し、被災地から市までの移動費用として1人5万円を交付。
- ③被災者が本市で生活していくうえで必要な生活必需品の購入費用として、1人5万円を一時金として交付。

#### 【問い合わせ先】

本庁・防災交通課防災消防係

☎1111内線1231

## 東日本大震災

# 被災地支援の 取り組み

市では、3月11日に発生した東日本大震災を受けて、被災地の支援を目的に市職員を現地に派遣しています。

そこで今号では、派遣された職員による現地での支援活動などについて紹介します。なお、市では今後も職員を派遣するなどして、支援を行っていきます。

### 東日本大震災義援金

31,794,523 円（8月15日現在・天草市受付分）

皆様のご協力ありがとうございました。引き続きご協力をお願いします。

7月19日から同30日まで、県と県内各市町村職員による合同支援派遣チームのメンバーとして、宮城県東松島市の同市役所で、住宅応急修理の申し込み処理業務などの支援活動に従事しました。現地においては、震災後4カ月が経過し、一部の地域ではがれきの撤去が行われているものの、物的な被災状況について大きな改善は見られませんでした。

また、被災された住民に対する支援義援金の支給や生活再建支援金、各種貸付などについても支給状況は一部にとどまっております。被災地の住民の皆さんが生活基盤を整えるまでには、ま



水産課  
山本 大輔 主事

## 復興にはまだ時間を要するも 住民の気持ちを感じ取る

まだまだ時間が必要であると感じました。

一方、市内では夏まつりなどのイベントが開催され、多くの人出でにぎわいを見せていたことから、住民の皆さんも時間の経過とともに現実を受け止め、復興に向けて立ち向かっていくという気持ちを感じ取ることができました。



▲にぎわいを見せる夏祭り

### 市職員の被災地への派遣状況（8月15日現在）

支援派遣区分	支援地	派遣人数
県合同支援派遣	宮城県東松島市	29
県保健医療チーム帯同派遣	宮城県南三陸町	11
応急給水活動隊	宮城県石巻市	1
水損公文書復旧支援派遣	岩手県釜石市	4
あまくさ晩柑、児童などの手紙配送	宮城県東松島市	8



▲水損公文書の復旧作業のようす